

令和4年度 第6回丸亀市産業振興推進会議 (会議録)	
日 時	令和5年2月20日(月) 午後1時半～午後2時40分
場 所	丸亀市市民交流活動センターマルタス 1F 多目的ホール
出席者	(丸亀市産業振興推進会議 会長) 小山会長(京都橘大学経済学部 准教授)
	(丸亀市産業振興推進会議 委員) 21名中、12名出席 奥田委員、杉尾委員、筒井委員、西川 平二委員、馬場委員、土井委員 濱中委員、松下委員、松原委員、真鍋 有紀子委員、松岡委員、矢野委員 (五十音順)
	丸亀市産業文化部産業観光課) 平尾課長、志村副課長、逢坂観光担当長、村山商工労政担当長、 横井主任、吉田副主任
	(アルパック) 山部氏、山口氏
欠席者	内海委員、梶谷委員、桑田委員、柴田委員、菅沼委員 西川 正則委員、東原委員、藤井委員、真鍋 宣訓委員(五十音順)
傍聴者	1名
議 題	1. 挨拶(小山会長) 2. 本日の会議進行について 3. 議事 (1) 第三次丸亀市産業振興計画(案)におけるパブリックコメントの結果について (2) 第三次丸亀市産業振興計画(最終案) (3) 実施計画について (4) その他 4. 閉会

会 議 の 概 要

1. 挨拶

京都橘大学 小山会長より挨拶

丸亀市産業観光課 平尾課長より挨拶

2. 本日の会議進行について

事務局より会議進行に関する説明を実施。

3. 議事

(1) 第三次丸亀市産業振興計画（案）におけるパブリックコメントの結果について

事務局よりパブリックコメントの結果（意見なし）を報告

(2) 第三次丸亀市産業振興計画（最終案）

事務局より第三次丸亀市産業振興計画（最終案）を報告

委員からの指摘による修正箇所、今後の庁内スケジュール等を説明

（小山会長）

- ・皆さまからの闊達な議論をふまえ、新たな時代に即した良い計画になっている。農業分野の拡充を図るとともに、中讃地域での広域連携の視点など非常に重要な視点が示されている。
- ・最終案について、これでよいか。

※委員一同より賛同の拍手

（小山会長）

- ・今後は事務局を中心に誤字脱字等のチェックを実施するが、最終的な調整は事務局と会長に一任でよいか。

※委員一同より意義なし

(3) 実施計画について

事務局より実施計画の作成イメージ及び今後の作成スケジュール等を報告

（小山会長）

- ・実施計画の作成について、何かご意見はあるか。

（松岡委員）

- ・現在、農業を取り巻く現状として、農業の担い手不足、グローバル競争による価格の不

安定化などに直面している。NHK の混迷の時代という番組でも、農業の問題がクローズアップされており、気候変動や国際紛争による食料安全保障の不安定化が指摘されている。日本の食料自給率は 38%と低く、農業についても様々な問題に直面しているが、将来的には国内での食料自給率を向上させ、農業の担い手を育てていく必要がある。

- ・ 今後は日本の食文化や、消費者の「食」に対する意識の有り様も変えていかないとけない。
- ・ 実施計画についてだが、まず新規就農者の増加は大事だが、1 人や 2 人が新規就農したからといって、焼け石に水である。より大事なのは、現在就農している方が農業を辞めなように働きかけることが大事である。市としても、定期的に就農者を訪問して、課題をうかがうなど、繋ぎとめる仕組みも必要になる。
- ・ 食料と農業の重要性を若年層に知ってもらうことが大事である。小学校での出前授業など、教育の一環として取り入れてもらいたい。
- ・ 食料自給率の向上は消費者に意識を変えてもらう（国産を食べてもらう）取組が必要になる。少し値段が高くなってしまっても、国産のものを食べてもらう必要性を PR すべきだ。
- ・ 外食産業などでは、外国産の農産品がたくさん使われているが、できるだけ国産を使うよう働きかけてもらいたい。

（小山会長）

- ・ 非常に重要な視点である。食料自給率は国家の安全保障に関わる部分である。
- ・ 現在、農業分野での人材不足は深刻化するとともに、安い外国産へのシフトが進んできたのが実態である。季節の国産のものを食べる、小～中学校から国産の農産品に触れる機会が重要である。高校生では遅いため、できるだけ早期からの取組が重要になる。
- ・ 外国産の農産品についても、日本は周辺国との競争で買い負けることも増えており、こうした時代だからこそ、国産品を使うことの重要性が増している。

（濱中委員）

- ・ かがわ産業支援財団では、主に製造業など工業系の面で支援を行っており、丸亀市とも支援施策の紹介といった面で連携してきた。
- ・ 今後とも当財団の施策を有効に利活用してもらいたい。丸亀市内の事業者にも広く周知を行っていただくとともに、当財団との連携・情報交換を密にお願いしたい。

（真鍋委員）

- ・ 実施計画について、今後の作成スケジュールを確認したい。

(事務局)

- ・6月の推進会議にて、今年度の実施結果も合わせて報告・ご説明したいと考えている。

(小山会長)

- ・今年度の推進会議はこれで終了であり、次年度となるが6月の推進会議にて今年度の報告、実施計画の報告という流れになる。7月には委員の改選も控えている。

(4) その他

事務局より最終案の確定スケジュールの説明

産業観光課 平尾課長より閉会のご挨拶

小山会長より閉会のご挨拶

午後2時40分 閉会

(以上)